

七月七日から八日の二日間にわたり、「コミュニティ自立支援プロジェクト事業が住民、町議会議員、町職員を対象に実施されました。」

【地域づくり座談会】

七月七日、下有住と五葉地区を対象に地域づくり座談会が開催されました。

▽下有住地区

下有住地区の座談会は三回目となり、前回の話し合いの内容を振り返り、前に出された意見が次に生かされるように話し合いが進められました。今回の座談会では、地域づくりを「何のためにしたいか」そのために「何をするのか」を櫻井常矢委員（高崎経済大学准教授）と加藤哲夫委員（せんだい・みやぎN.P. センター代表理事）の進行により、みんなで話し合い、次のような方針案がまとまりました。「地域づくり五つの方針案」  
一、皆が健康に元気に暮らせる地域にします。  
二、人の和を大切に、皆



下有住地区座談会の様子

の役に立つことをします。  
三、世代や性別をこえた人のつながりをつくります。  
四、皆が気軽に集まり、話し合える場をつくります。  
五、下有住の豊かな地域資源を生かしていきます。  
座談会に参加した住民から、初めて参加したがおもしろ

▽五葉地区

五葉地区の座談会は二回目で、五葉地域づくり委員会総会と一緒に開催されました。総会のあと、短い時間でし



議員研修の様子

【議会議員研修】

七月八日、生活改善センターで、町議会町政調査会主催による議員研修会が開催されました。「住民協働による自治体経営を進めるために」をテーマに、「住民協働による自治体経営を進めるために」をテーマとした櫻井委員の講演が行われました。  
「合併する、しないは別にしろ、地域としての自立を図ることは大切。何もせず行政に依存したままでは、再編の波にのまれてしまう」と櫻井委員は話し、議員らは熱心に耳を傾けました。

【第二回職員研修】

七月八日、午前と午後の二回に分けて第二回職員研修会が開催されました。

今回の研修は約六十人の職員が受講し、公務員が良い仕事ができない五つの理由のテーマで加藤委員が講師を務めました。

「地域づくりとは「なぜ協働なのか」の説明を進めながら、市民の権利を知らない歴史を知らない市民活動の本質を知らないコミュニケーションがヘタ、アイデア欠乏症やる気をつぶす風土とシステムがある。と公務員が良い仕事ができない理由を話しました。



職員研修の様子

シルバーパワーを發揮!

住田町老人クラブ連合会長杯

町老連会長杯

グラウンドゴルフ大会

町老人クラブ連合会長杯グラウンドゴルフ大会は二日、運動公園と河川公園を会場に開かれました。

この日は、町内の老人クラブ会員や町グラウンドゴルフ協会員ら約百三十人が参加し、すつきりとした青空が広がる絶好の競技日和の中で、シルバーパワーを発揮して熱戦を繰り広げました。

今回で九回目となるこの大会は、会員の健康を保持し、生きがいを高め、親睦と交流を深めることを目的として開催されており、参加者は、元気いっぱいプレーし、終始にぎやかな雰囲気競技を楽しんでいました。



参加者は元気にプレー

臨時会

集成材加工設備工事の請負契約の締結が決まる

町議会臨時会が十八日に開かれ、工事請負契約の締結について審議されました。この概要をお知らせします。

議決

集成材加工設備工事の請負契約の締結の議案を可決  
工事名「集成材加工設備工事」  
工事場所「田谷地内」  
請負業者「北進産業株式会社代表取締役筒井学」  
契約金額「一億七千五百五十三万円」

◆問い合わせ

町づくり推進課 自立推進担当

☎ 46 2114 (内線) 261